

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成 23 年 3 月 31 日			
	総事業費	2,524,662千円(礼文町分1,096,221千円)			
	交付金額	841,554千円(礼文町分365,407千円)			
	整備対象地域	礼文町全域			
	事業の内容	<p>町内のブロードバンド未提供エリアに対しFTTHによる光ファイバ網を整備し、民間電気通信事業者にIRU契約により施設を貸し出すことにより、インターネットサービスが利用できる環境を整備した。</p> <p>また、全戸へIP通信による双方向告知端末を導入し、緊急放送や災害情報等を提供できる環境も整備した。</p>			
BB	サービス開始日	平成 23 年 4 月 1 日			
	サービス形態	公設民営 (IRU)			
	契約先	東日本電信電話株式会社 北海道支店			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	1,420	1420	1357	1309
	加入世帯数	430	570	437	555
加入率(%)	30.3%	40.0%	32.2%	42.4%	
評価及び課題	<p><評価></p> <p>光環境が構築され、町内全域で高速ブロードバンドが利用可能となり、情報通信格差が解消され、便利な島へとなったことにより、生活環境基盤が向上した。</p> <p>また、各家庭に双方向告知端末を整備し、行政情報や緊急放送、災害情報等の生活に必要な情報を迅速に提供することも可能となり、安心安全なまちづくりを推進できた。</p> <p>BBの加入世帯数では、計画時の目標を達成していないものの順調に増加している。また、地域の世帯数の減少はあるものの加入率については目標を達成している。</p> <p><課題></p> <p>順調に増加しているBBの加入世帯数ではあるが目標達成に向け、効果的な加入促進と光環境を活用した地域サービスの検討が必要である。</p> <p>整備した情報通信基盤の更新に伴う費用及びサービス提供の継続についての検討が必要である。</p>				